

「『おたすけ願』ワーク」

○ねらい

一人ひとりが自らの周囲に目を向け、おたすけの心を培い、活動目標「一人が一人のおたすけ相手を」の具体的な取り組みへとつなげる。

○用意する物

- ・ 筆記用具
- ・ ワークシート（人数分）
- ・ A4 白紙（人数分×2）
- ・ 「おたすけ願」（人数分）
- ・ 裏紙（白紙でも可）

○所要時間

90分

○人数編成

4～5人

○進め方

1) 導入（5分） ※導入は、必要に応じて実施する。

- ・裏紙（白紙でも可）を配布する。
- ・ブレインストーミングとして、お題について思い浮かぶものをできるだけ多く記入する。

（例題）①「コンビニにあるもの」など、答えやすい題目。

②「教祖のお言葉」など、お道にまつわる題目。（それぞれの信仰度合いが見える）

2) 思い浮かぶ人を白紙にできるだけ多く記入する。（5分）

- ・A4白紙を配布し、トレーナーから「日常生活を振り返って、『あのとき、たすけてもらった』と感じる人の名前を、思いつく限り書き出してください」と促す。

※トレーナーは、ペンが止まっている人や困っている人がいたら積極的に関わる。

（例）「家族や親戚、友人、職場の人、教会の人、青年会の人、近所の人などを思い浮かべてみてください」

（例）「声を掛けてもらった、話を聞いてもらった、親切にもらったなど、ささいなことで構いません」

3) たすけてもらった人を一人選ぶ。(15分)

- ・ 2) で挙げた中から、「あのとき、たすけてもらった」と感じる人の名前（家族以外）を一人選び、ワークシートの①に記入する。合わせて、その人のことやたすけてもらった内容など、エピソードを記入する。(5分)

※「必ずしも本名を記入する必要はありません。イニシャル・仮名でも構いません。安心して取り組んでください」と促す。

- ・ 全員の記入が終わった後、トレーナーから順番に発表する。(10分)
- ・ トレーナーから、「少し時間を取るので、A4用紙に羅列した、たすけてもらった人たちの名前を目で追ってください」と指示する。(目安15～30秒)
- ・ その後、「私たちは、たくさんの人にたすけていただいて毎日を過ごしています。これからの時間は、私たちが、誰かのためにできることを考えたいと思います」と促す。

※A4用紙はこの後も使用するため、裏を向けて置いておく。

4) たすけたい人を一人選ぶ。(15分)

- ・ 今、心に浮かぶ、たすけたい人、または気がかりな人を一人選び、その人が困っていることや悩みなど、その人の状況をワークシートの②に記入する。また、「記入が終わった人は、その方を通して気付いた親神様の思いや、反省すべき自らの心遣いについても考えてみてください」と促す。

す。(5分)

- ・全員の記入が終わったら、順に発表する。(10分)

※発表は、個人情報に配慮し、伝えられる範囲でよいことをあらかじめ伝える。

5) たすかりを願うに当たって、自分にできることを考える。(30分)

【手順】

- ① A4用紙(先ほど使用した、裏を向けている用紙)を六等分になるよう、折目をつける。
- ② 神様に誰かのたすかりを願ってこれまで実践してきたこと、これから行いたいこと、周囲の人が実践していた方法、本で読んだ内容など、誰かのたすかりを願って行う具体的な方法を思いつく限りA4用紙に記入する。(3分)

※六等分した枠に一つずつ具体的な実践方法を記入する。

※枠が足りなくなった人には予備の紙を渡す。

- ③ 一人ずつ、用紙を見せながら記入した内容をメンバーに発表する。(10分)
- ④ 全員の発表を聞き、気になった項目をワークシートの③に記入する(質問でも可)。(3分)
- ⑤ その後、気になった項目について順に発表する。(10分)

6) 「おたすけ願」を記入する。(15分)

- ・「おたすけ願」を配布し、記入する。(5分)
- ・全員の記入が終わった後、内容を順に発表する。(10分)

【「おたすけ願」の項目】

- (1) たすかってほしい方の名前/たすかっていただきたいこと (ワークシートの②を参考に)
- (2) その方を通して気付いた神様の思いや自らの心遣い
- (3) 「たすかり」を願うにあたって、あなたにできることはなんですか？

※ワークシートの③に記入したことにとらわれず、自由に記入する。

7) まとめ (トレーナーからのコメント)

※ポイント

- ・青年会長様は、「心を澄ます毎日」とは、『人間がたすけあう姿を見て共に楽しみたい』という、親神様の思いを分かろうとする毎日」とであると説明されている。
- ・周囲を見渡し、悩みを抱えている人の姿を通して、親神様が自分に何を伝えようとされているのかを考え、そして、その人のたすかりのために行動を起こしていくことは、自らの心を澄ます上で大きな一歩となる。

○留意点

- ・トレーナーが付く場合、発表が全体の基準になるため、話の長さや内容の深さに配慮し、最初に発表する。
- ・秘密保持を徹底する。
- ・話したくない内容については、無理に発表しなくてもよいことをあらかじめ伝える。